

2019年11月8日

保護者各位

開園6か月アンケート
(締め切り11月22日)

千代田せいが保育園 園長 倉掛秀人

日頃より保育運営にご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。開園して7ヶ月がたちました。この時点で保護者の皆さんにアンケートをとらせていただき、今年度前期を振り返り、園としての自己評価をします。また年度末までの見通しと計画に役立てたいと存じます。今回のアンケート項目は昨年2018年に国が実施した「保育の質を向上させるための検討会」が中間まとめで検討した3つの分野に即してお尋ねします。今回はパソコンやスマホでの回答方法は準備が間に合いませんでした。手書きですが、よろしくお願いします。

アンケートは無記名でも構いませんが、できれば氏名をお書きください。

1. 上半期は以下のような内容に力を入れてきました。どんな成果(興味が出たとか楽しめた、など)があると思われますか。○をつけていただき、空欄には具体的な子どもの姿を教えてくださいと嬉しいです。

(ア)乳児から幼児まで「子ども同士の関わり」の中で育つものを大切にしてきたことで成果があったと思いますか。

(1) ある (2) ない (3) わからない

(イ)乳児の「はいはい」や運動、幼児の室内運動スペース(3階)の活用、戸外遊びなどで「体を動かす遊び」をしてきたことで、成果があったと思いますか。

(1) ある (2) ない (3) わからない

(ウ)日本で今後続くことになる「暑い夏」の「涼の取り方」としてのプール遊びや水遊びができたこと(7月下旬から)で成果があったと思いますか。

(1) ある (2) ない (3) わからない

(エ)バス遠足での園外保育（２歳児以上）や姉妹園（せいがの森や新宿せいが）との交流を実施したことで成果があったと思いますか。

（１）ある （２）ない （３）わからない

(オ)行事を通じて地域との連携（町会との連携、屋形船納涼会、鬼ごっこ協会、相撲部屋などとの協働事業）が深まったことで成果があったと思いますか。

（１）ある （２）ない （３）わからない

2. 保育実践の内容の「見える化」について。千代田せいが保育園では、保育を進める上で何を大切にしているかを説明したり、見学してもらったり、ホームページにブログをアップしたりと、私たちが感じ取った子どもの育ちの具体的な様子をお伝えして、その意味もできるだけ解説してきました。そのような取り組みについて、どう思われますか。自由にお書きください。

3. 千代田区や地域との連携について。区からの緊急一時保育を受け入れたり、鬼ごっこのある町づくりや、赤ちゃんの眠りなど、子育て支援の地域活動を少し始めたりしました。こんな事業が望ましいという提案があればお聞かせください。

4. ホームページはどれくらいの頻度でご覧になっていますか？（２回目の同じ質問）
a ほぼ毎日 b 週に数回 c 週１回程度 d たまに e ほとんど見ない f 全く見ない

5. その他、なんでも自由にお書きください。

組 組 組

保護者氏名

*アンケート結果は１２月の園だよりでご紹介します。スペースが狭くてすみません。